

ヘルパンギーナ

三大夏風邪の一つ

(ヘルパンギーナ、手足口病、プール熱)

ヘルパンギーナの原因は？

ヘルパンギーナとは「夏風邪」の代表疾患です。

コクサッキーウイルスやエンテロウイルスといったウイルス感染による引き起こされます。

90%が5歳未満の乳幼児で発症します。

感染経路

感染経路は飛沫感染と接触、経口感染です。

①飛沫感染

ウイルスは口腔内にできた水疱から咳やくしゃみと一緒に飛び出します。

②接触感染

エンテロウイルス属ウイルスは感染者の便と一緒に排泄されるためトイレやおむつ替えのときに手につきます。その手で眼や鼻、口に触れることで感染します。食物についたウイルスを食べることで感染します。

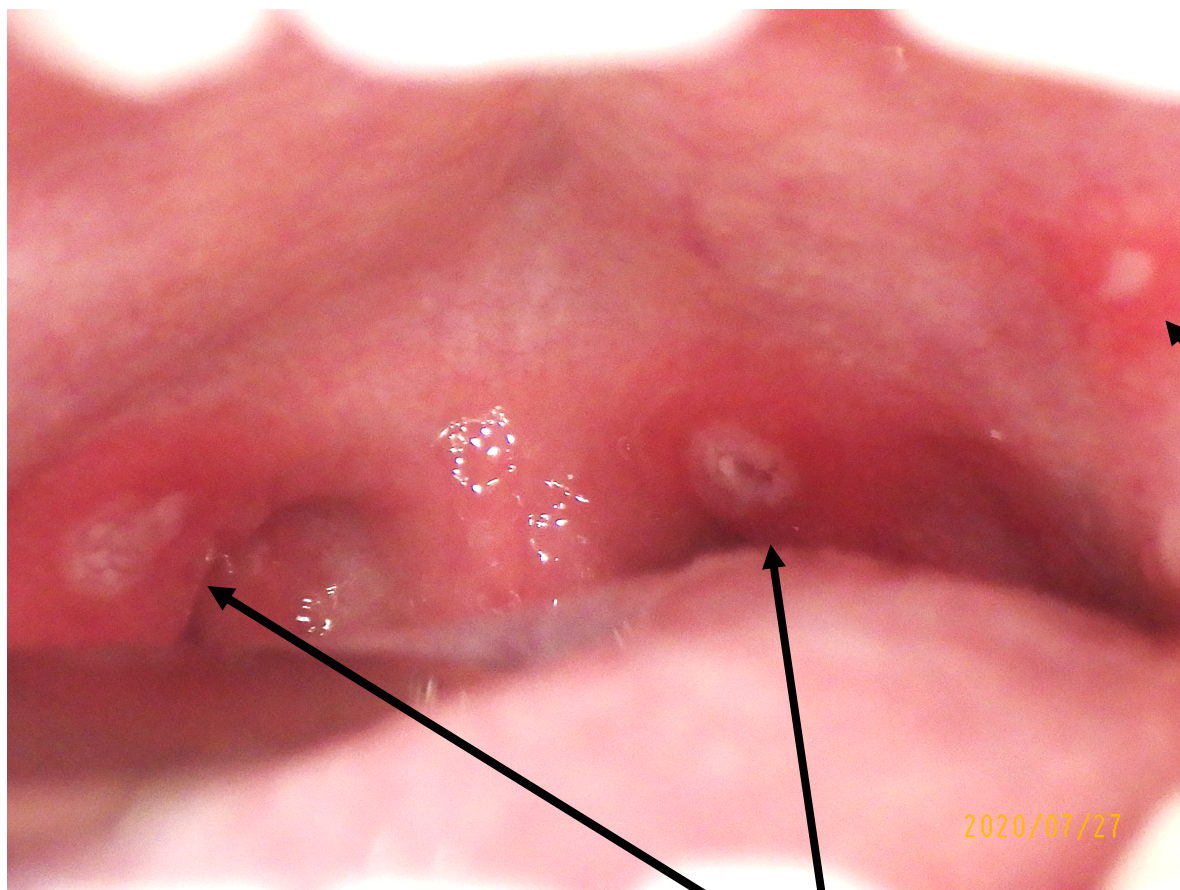
症状

主に38-40度の発熱が2-3日続きます。熱性痙攣を合併することもあります。

また喉の奥に強い痛みを伴う水疱や口内炎を作ります。

そのため食事がとれず脱水や低血糖などの症状を起こすことがあります。

咽喉所見



水疱

口腔内潰瘍

治療

特異的な治療法はありません。

そのため解熱鎮痛剤を使用し、喉の痛みを緩和する治療を行います。

また積極的な水分摂取と食べやすい食事を摂ります。

オレンジジュースや熱いものは痛むため、プリンやヨーグルト、ぬるめのミルクなどをあげましょう。

脱水症を思わせる症状

- おしっこの量や回数が減る
 - 唇や口の中が乾く
 - 皮膚の張りがなくなる
 - 泣いても涙が出ない
 - 元気がなく、ぐったりとしている
- などです。

悩む場合には受診をしましょう。

登園・登校の目安

ヘルパンギーナには登園、登校の禁止期間は設定されていません。

そのため解熱し、食欲や体力が回復したら登園、登校しても問題ありません。